

## 記録篇

### (I) 日 程

11月13日 (木)

- 参加者登録 (受付) 13:00
- 開 会 13:30 古川清彦 (国文学研究資料館教授)
- あいさつ 市古貞次 (国文学研究資料館長)
- 研究発表〈座長・長谷川泉〉13:50
- 三島由紀夫の近代能楽「熊野」について 松井朔子  
(シドニー大学上級講師)
- 井伏鱒二の文学の日記—再生への儀式— JOHN TREAT  
(エール大学大学院生)
- 休 憩 15:00
- 研究発表〈座長・福田秀一〉15:30
- 「蜻蛉日記」と「とはすがたり」との考察 TSVETANA KRISTEVA  
—日記文学というジャンルについての一言—  
(ブルガリア・ソフィア大学講師)
- 宇治の垣間見について LEWIS COOK (コーネル大学大学院生)
- 休 憩 16:40
- レセプション 17:00

11月14日 (金)

- 研究発表〈座長・池田 重〉10:30
- 日中両国における近代詩革命 葉 寄民 (跡見学園女子大学講師)  
—「新体詩抄」と「白話詩運動」との比較—
- 和歌と時調の植物素材に関する 李 相澤 (慶尚大学校師範大学助教授)  
考察—万葉、古今、新古今  
集を中心に—

館内展示説明 11:40 本田康雄（国文学研究資料館教授）

昼 食 12:00

研究発表

〈座長・臼田甚五郎〉13:30

梁塵秘抄と変文の関係についての一考察 翁蘇倩卿（淡江大学教授）

熊野比丘尼の絵解き 林 雅彦（明治大学助教授）  
—「地獄語りの文芸」試論—

休 憩 14:40

講 演 15:00

平安朝の「風流」の一先駆者としてみた源融

BERNARD FRANK（コレージュ・ド・フランス教授）  
（国文学研究資料館客員教授）

## （2）研究集会の経過

### 第1日（13日）

#### ※参加者登録

午後1時から国文学研究資料館1階ホールにおいて参加者登録、受付を行った。参加者は116名、うち海外からの参加者は30余名であった。

#### ※開 会

午後1時30分、国文学研究資料館1階大会議室で、古川清彦国文学研究資料館教授の開会宣言があり、市古貞次国文学研究資料館長の挨拶が行われた。

#### ※研究発表

長谷川泉座長のもと、松井朔子氏の「三島由紀夫の近代能楽『熊野』について」とジョン・ツウリット氏「井伏鱒二の文学の日記」とが発表された。松井氏のものは、三島の近代能楽集のうち翻訳がされておらず、幾分、日陰的存在であった「熊野」に焦点をあて、近代能としての再評価をもくろんだものである。ジョン・ツウリット氏は「黒い雨」を中心に井伏の

記体小説の解明を行った。

30分の休憩後、福田秀一氏の司会により、ツベタナ・クリステワ氏とルイス・クック氏が発表を行った。ツベタナ・クリステワ氏は日記文学における作者の内・外面からの執筆動機や日記の文芸時間についての問題を説き、またルイス・クック氏は宇治の垣間見の描写箇所について、Contrastよりも姫君達のContiguityが作者の眼目であったという意見の他、独自の見解を示した。

#### ※レセプション

午後5時からレセプションが行われ、リディン・オロフ氏のあいさつのあとなごやかな懇談が行われた。

### 第2日 (14日)

#### ※研究発表

午前10時半から池田重氏の司会により、葉寄民氏と李相澤氏が発表し、葉氏は西欧のインパクトによる中国、日本のそれぞれの影響の様態を比較分析し、また李氏は、万葉集を中心とする日本文学に示されてある植物に対する美意識と時調のそれとの比較を通して日、韓文化の比較検討を行った。

#### ※国文学研究資料館案内

11時40分から国文学研究資料館の案内、利用方法、特別展示説明、翌16日の公開講演会のお知らせなどが本田康雄国文学研究資料館教授より報告があった。

#### ※研究発表

午後1時半から、臼田甚五郎座長のもと、翁蘇倩卿氏と林雅彦氏が発表を行った。翁蘇氏はタイトル通り梁塵秘抄と唐土の変文文学との関係について考察し、林氏は氏自身が収集した地獄絵のスライドを示しながら、熊野比丘尼の地獄絵の絵解きを解説した。

※講 演

30分の休憩のあとベルナール・フランク氏が源融の風流について1時間  
余り講演した。二日目の午後にもかかわらず、聴衆は100名を越し、熱心  
に聞き入った。

参 加 者 名 簿

List of Participants

氏 名	現職名あるいは所属機関	専 攻
阿 部 好 臣	国文学研究資料館助手	中 古 文 学
BUCKLEY, Sanaralee	早稲田大学研究員	国 文 学
BUNDY, Roselee	筑波大学研究生	日本学・和 歌
CHILDS, Margaret	京都大学研究員	中 世 文 学
COOK, Lewis	コーネル大学大学院生	中 古 文 学
李 相 澤	慶尚大学校師範大学助教授	日 本 文 学
FIELD, Norma	プリンストン大学大学院生	平 安 文 学
FISCHER, Claus	ボーフム大学教授	近世・近代文学
FRANK, Bernard	コレージュ・ド・フランス教授	中 古 文 学
福 田 秀 一	国文学研究資料館教授	中 世 文 学
福 島 和 夫	上野学園大学教授	音 楽 学
古 川 清 彦	国文学研究資料館教授	近 代 文 学
古 谷 美佐子	日本外国特派員協会日本語 学校講師	
GERLING, Reuben	上智大学院生	中 世 文 学
HAMABATA, Matthews	ハーバード大学	社 会 学
浜 崎 浩	日本放送協会国際局欧米部	現 代 文 学
HARBISON, Mark A.	東 京 大 学 国 文、スタン フォード大学	国 文 学
長谷川 泉	学習院大学講師	近 代 文 学

畑 美波子	主婦	近代文学
畑 紀子	会社員	近代文学
畑 輝夫	会社役員	近代文学
林 雅彦	明治大学助教授	中世文学
平 沢 龍介	国文学研究資料館助手	中古文学
廣 川 堯敏	大正大学講師	仏教
本 田 康雄	国文学研究資料館教授	近世文学
市 古 貞次	国文学研究資料館長	中世文学
伊 井 春樹	国文学研究資料館助教授	中古文学
飯 田 恵己子	共立女子大学大学院生	中古文学
飯 島 武久	山形大学助教授	近代・比較文学
池 田 重	千葉大学教授	中世文学
池 上 英子	東洋哲学研究所研究員	
今 関 敏子	お茶の水女子大学大学院生	女流日記
井 本 農一	聖心女子大学教授	近世文学
石 井 敬子	東海大学講師	近代文学
石 塚 英弘	国文学研究資料館助教授	情報処理
石 塚 道子	富士短期大学	能・狂言
KAMENS, Edward	早稲田大学研究員、エール大学大学院生	中古文学
菊 地 隆雄	蔵前工業高校教諭	中・日現代文学
小 池 文子		現代俳句
小 松 紀子	米・加十一大学連合日本研究センター講師	謡曲
小 山 一成	立正大学助教授	近世文学
KRISTEVA, Tsvetana	ブルガリア・ソフィア大学講師	中古文学
糸 川 光樹	フェリス女学院大学教授	上代文学
KUNCHUR, V. K.	名古屋大学研究生	近代文学
倉 沢 敏彦	明治大学大学院生	演劇学
李 善玉	法政大学院研究員	近代文学
李 芒	早稲田大学大学院文学科派遣研究員	和歌・俳句
LIDIN, Olof Gustav	コペンハーゲン大学教授	荻生徂徠

林 黙 章	早稲田大学大学院生	現 代 日 本 語
MARRA, Michele	筑波大学研究生	
松 田 修	国文学研究資料館教授	近 世 文 学
松 井 朔 子	シドニー大学シニア講師	近 代 文 学
松 尾 靖 秋	工学院大学教授	俳 諧
MERTS, John P.	名古屋大学研究生	近 代 文 学
三田村 雅 子	早稲田大学助手	中 古 文 学
三 谷 邦 明	早稲田大学高等学院教諭	物 語 文 学
三 浦 一 信	玉川学園教諭	中 世 文 学
長 島 要 一	コペンハーゲン大学助教授	現 代 文 学
内 藤 衛 亮	国文学研究資料館助教授	情 報 ・ 図 書 館 学
中 川 成 美	立教大学大学院生	現 代 文 学
中 村 純 子	駒沢大学大学院生	中 古 文 学
中 村 哲 郎	演劇評論家	日 本 演 劇
西 一 祥	日本大学教授	能
西 勝		
西 尾 光 雄		文 体 論
西 谷 元 夫	沼津工業専門学校教授	上代・近世文学
野 村 精 一	山梨大学教授	
小田桐 弘 子	国学院大学日本文学研究所 研究員	比 較 文 学
岡 雅 彦	国文学研究資料館助教授	近 世 文 学
岡 田 英 樹	カリフォルニア大学バーク レイ	中 古 文 学
奥 出 健	国文学研究資料館助手	近 代 文 学
大矢マルグリット	成城大学講師	日本漢詩中国詩
乙 幡 俊 之	創価学園教諭	国 語 学
盧 英 姫	韓国外国語大学院	近 代 文 学
ROHDE, Charlotte	デンマーク王立図書館研究員	平安文学・物語
SADUN, Daniela	国際交流基金	日 本 語
佐 伯 雅 子	富士見丘学園講師	中 古 文 学
齋 藤 雅 英	ミシガン大学アジア図書館	哲 学
坂 井 セシル	早稲田大学大学院生	現代・近代文学

坂 本 秀 次	日本放送協会	近 代 文 学
沢 井 耐 三	愛知大学助教授	中 世 文 学
詹 秀 娟	駒沢大学大学院生	近 代 文 学
渋谷 栄 一	高千穂商科大学講師	中 古 文 学
新 谷 勝 幸	和光大学生	中 世 文 学
白 土 わ か	大谷大学教授	仏 教 学
鈴木 敏 幸	東海大学講師	近 代 文 学
多 賀 レ ア		中 期 朝 鮮 語
田 嶋 一 夫	国文学研究資料館助教授	中 世 文 学
高 木 きよ子	米・加十一大学連合日本研究センター副所長	宗 教 学
竹 田 久 子	山梨大学学生	中 古 文 学
谷 行 博	大阪経済大学専任講師	現 代 中 国 文 学
龍 田 肇	千葉県保育専門学院講師	近 代 文 学
天明 バーバラ	早稲田大学生	近 代 文 学
寺 島 樵 一	武庫川女子大学講師	中 世 文 学
栃 木 孝 惟	千葉大学助教授	中 世 文 学
東ヶ崎 民 代	国際文化会館図書室長	図 書 館 学
徳 田 和 夫	学習院女子短期大学講師	中世文学語り物
鳥 居 昭 子	翻訳業	比 較 文 学
TREAT, John	エール大学大学院生	近 代 文 学
上 杉 省 和	静岡大学助教授	近 代 文 学
宇佐美 光 男	高校教諭	平 安 文 学
臼 田 甚五郎	国学院大学教授	口 承 文 芸
WAKISAKA, Geny	研修員	万 葉 集
王 淑 英	東海大学大学院生	中 世 和 歌
渡 辺 洋 子		近 世 文 学
渡 辺 三 男	駒沢大学教授	平 安 文 学
渡 辺 真 次	市立横須賀高校教諭	古 代 文 学
翁 蘇 倩 卿	淡江大学教授	中 世 文 学
山 本 太 郎		明 治 初 期 の 文 学
山 中 光 一	国文学研究資料館助教授	近 代 文 学

山 根 对 助	北海学園大学教授	中 古 文 学
山 下 宏 明	名古屋大学助教授	中 世 文 学
柳 瀬 広	東方学会	
矢 野 昌 邦	座間高校教諭	
葉 寄 民	跡見学園女子大学講師	近 代 文 学
吉 川 需	日本大学教授	日 本 庭 園 史

#### 昭和55年度国際日本文学研究集会委員会委員

委員長	井 本 農 一（聖心女子大学教授）
委 員	池 田 重（千葉大学教授）
委 員	白 田 甚五郎（国学院大学教授）
委 員	ドナルド・キーン（コロンビア大学教授）
委 員	長谷川 泉（学習院大学講師）

※館内委員を除く。

ただし、ベルナール・フランク氏は当館客員教授であった期間（1980年12月まで）委員として参加された。